

幸せはこぼる  
住まいづくり



第42期

# 株主通信

平成26年4月1日～平成27年3月31日

フジ住宅株式会社

証券コード：8860

FUJI

# 株主の皆様へ

株主の皆様には格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

わが国経済は、消費税増税後の需要の反動減の影響を受けたものの、政府主導による経済政策や金融緩和政策を背景に企業収益が回復し、雇用・所得状況が改善に向かうなど景気回復は底堅い動きで推移しました。

不動産業界におきましては、消費税増税前の駆け込み需要による反動減が長引いており、加えて地価の上昇や建築コストの高騰により、一部都心部の分譲マンション販売に好調な気配はあるものの分譲マンション・戸建住宅とも全般的に住宅需要は低迷しました。

当社グループの平成27年3月期（平成26年4月～平成27年3月）の業績は消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響や建築工事費の高騰による分譲マンション供給の抑制を反映して、売上高・利益ともに過去最高となった前期を下回る結果となりました。一方、富裕層向けの一棟売賃貸アパートの受注が好調に推移したこと、賃貸及び管理事業の収益性が大きく伸長するなど今後の業績向上が見通せるところとなりました。

当社は、今年4月30日付で新たな4ヶ年の中期利益計画を発表いたしました。同計画の最終年度である平成31年3月期には売上高1,020億円、経常利益60億円を目標とした計画でございます。中期利益計画を業績目標として、不透明な経済状況が予想される中、顧客ニーズに応える立地の選定、商品企画を図り、高品質の住宅供給に注力いたします。また、コーポレートガバナンス・コードの実践を通じ企業の信頼性を一層向上してまいります。

引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆とはなりましたが、皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

平成27年6月吉日

代表取締役社長 宮脇 宣綱



## Q1 平成27年3月期の業績と平成28年3月期以降の業績の見通しについて説明してください。

平成27年3月期の業績は、売上高79,594百万円（前期比7.8%減）、営業利益4,361百万円（前期比24.9%減）、経常利益4,322百万円（前期比23.6%減）、当期純利益2,756百万円（前期比15.5%減）となりました。

マンション建築の資材高騰及び人件費の増加により、分譲マンションの供給を抑制したため、引渡し物件が減少し前期比で減収・減益となったものの、期初予想とほぼ同水準の結果となりました。なお、受注契約高では、富裕層

向けの一棟売賃貸アパートの受注が好調であり、前期を上回る結果となりました。平成28年3月期につきましては、この好調な受注の引渡しが進むことから増収・増益を見込んでおります。また、消費税増税の影響も一巡し、自由設計住宅の受注契約戸数が増える見通しであり、平成29年3月期以降の売上に貢献していくと見込んでおります。

## Q2 社員の健康管理に力を入れているとお聞きしましたが具体的にどのような取り組みをされているのでしょうか。

当社の経営理念の最初に「社員のため」「社員の家族のため」とあるように、何より社員と社員の家族の幸せを第一に考えています。それは働く社員が幸せであるからこそ、お客様に心から喜んでいただける仕事ができると考えているからです。

そのために当社では社員がイキイキと働くことができる取り組みを展開しております。社員は「会社の健全な成長を支える経営基盤」と考え、「社員の健康・幸福なくして、会社の発展は成し得ない」という創業者である現会長の想いから、特に健康管理には力を入れています。

たとえば、毎年行われる健康診断はパート社員含めた全社員を対象としています。検査項目についても、ガン検査やピロリ菌検査等、充実した内容となっており、またそれを社員の家族の方も受診できるようにしております。

社員、社員の家族を大切にすることで全社員が感謝の気持ちや仕事に対して誇り、やりがい、生きがいを持ち、仕事もプライベートも明るく、イキイキと、充実して送ることで社員のモチベーションが高まり、社員はお客様を大切にす人財となります。

結果、「全てのステークホルダーの方に幸せになっていただく」という当社の事業目的につながっていくと考えております。



<社内健康診断風景>

# 事業セグメント別売上高構成比



『ビッグハーベストランド武庫之荘Ⅱ』の街並みイメージ(兵庫県尼崎市)



『自由設計』



『シャルマンフジスマート和歌山城公園』の完成イメージ(和歌山県和歌山市)



自由に見て、自由を選ぶ住宅情報展示場「おうち館 泉佐野店」(大阪府泉佐野市)



## 分譲住宅セグメント 30,024百万円

(前期比11,442百万円減)



(売上高構成比)

内訳…自由設計住宅	20,527百万円
分譲マンション	9,027百万円
その他	469百万円

特長は50~200戸規模の新築戸建住宅の「街づくり」と、お客様ご自身が住まいづくりにご参加いただく「自由設計」です。自由設計住宅では間取りや設備仕様に対するさまざまなニーズに対応しています。また、新築分譲マンション販売事業も分譲住宅セグメントに含まれます。



## 住宅流通セグメント 25,423百万円

(前期比1,722百万円減)



(売上高構成比)

内訳…中古住宅	22,611百万円
建売住宅	2,780百万円
その他	31百万円

中古住宅の「仕入」⇒「リフォーム」⇒「販売」の3つの要素から成り立つ改装付中古住宅『快造くん』。地域密着型経営やリフォームのマニュアル化による独自のノウハウを持つことが強みです。また、小規模の新築戸建住宅(建売住宅)の販売により、自由設計住宅や大規模プロジェクトだけではカバーできない顧客ニーズにも対応しています。

### 住宅流通



### 注文住宅



住宅

家の家  
家が見つかる  
ii-ie.com

土地  
有効活用

FUJI

賃貸及び  
管理

暮らしを見守る確かな  
FUJI AMENITY SERVICE SYSTEM  
EASS



(売上高構成比)

## 土地有効活用セグメント 12,951百万円



(前期比5,677百万円増)

土地有効活用セグメントでは賃貸管理のノウハウを生かした提案型の賃貸住宅の建築請負を展開しています。また、当社で土地を仕入れ、賃貸アパート等を建築し販売する、個人投資家向け一棟売賃貸アパート販売も主力事業となっています。



低賃料タイプサービス付き  
高齢者向け住宅  
「フジバレスシニア」  
(大阪府堺市)



個人投資家向け  
一棟売賃貸アパート  
「フジバレス」シリーズ



(売上高構成比)

## 賃貸及び管理セグメント 10,674百万円



(前期比964百万円増)

賃貸アパートの建物管理や入居者募集、賃料回収等の管理業務及び分譲マンションの管理組合からの運営受託を行っています。  
良質な賃貸・管理サービスは提案型の建築請負の営業支援となり、引渡し後の賃貸管理の引き受けと併せて、土地有効活用セグメントとの相乗効果も高い事業です。



(売上高構成比)

## 注文住宅セグメント 520百万円



(前期比246百万円減)

注文住宅セグメントでは戸建住宅の実績で培ったノウハウを生かし、土地を保有するお客様に対して戸建住宅の新築や建替えを請負うといった事業を行っています。



「注文住宅展示場」(大阪府岸和田市)

# 連結財務諸表の要旨

## Point 1

### たな卸不動産（販売用不動産、仕掛販売用不動産、開発用不動産、未成工事支出金）

良質でかつ大型の戸建住宅用地を取得したこと等により、たな卸不動産の合計は前連結会計年度末より、5,977百万円増加しました。

## Point 2

### 短期借入金、長期借入金

短期及び長期借入金の合計残高は前連結会計年度と比較して、6,362百万円増加しました。

良質でかつ大型の戸建住宅用地の取得や運転資金の効率的な調達等のために、長期的な資金調達を行った結果です。

## Point 3

### 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益

消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響により前連結会計年度に比べ減収・減益となっています。

また、好調な富裕層向けの一棟売賃貸アパートの引渡しにより土地有効活用事業、賃貸及び管理事業の増加が下支えになったものの、建築工事費の高騰により分譲マンションの供給を抑制したことから、引渡し物件が減少したことも主な要因となっています。

## 連結貸借対照表

(単位:百万円 百万円未満切捨)

資産の部	前連結会計年度	当連結会計年度	負債の部	前連結会計年度	当連結会計年度
	平成26年3月31日	平成27年3月31日		平成26年3月31日	平成27年3月31日
<b>流動資産</b>	<b>77,427</b>	<b>83,262</b>	<b>流動負債</b>	<b>30,019</b>	<b>28,203</b>
現金及び預金	9,802	8,614	支払手形・工事未払金	2,767	3,998
完成工事未収入金	98	58	② 短期借入金	18,028	16,288
① 販売用不動産	17,441	19,270	その他	9,222	7,917
仕掛販売用不動産	13,245	15,711	<b>固定負債</b>	<b>31,524</b>	<b>39,371</b>
① 開発用不動産	35,387	37,081	社債	260	—
未成工事支出金	78	66	② 長期借入金	31,023	39,127
その他	1,373	2,459	その他	240	244
<b>固定資産</b>	<b>8,424</b>	<b>10,696</b>	<b>負債合計</b>	<b>61,543</b>	<b>67,575</b>
有形固定資産	7,289	9,314	<b>純資産の部</b>		
無形固定資産	55	69	株主資本	24,356	26,261
投資その他の資産	1,080	1,312	その他の包括利益累計額	△ 62	64
<b>資産合計</b>	<b>85,852</b>	<b>93,958</b>	新株予約権	14	56
			<b>純資産合計</b>	<b>24,308</b>	<b>26,382</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>85,852</b>	<b>93,958</b>

## セグメント情報

(単位:百万円 百万円未満切捨)

前連結会計年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

	報告セグメント					合 計
	分譲住宅	住宅流通	土地有効活用	賃貸及び管理	注文住宅	
売上高						
外部顧客への売上高	41,467	27,145	7,273	9,709	767	86,363
セグメント利益又は損失 (△)	4,367	1,093	673	619	△ 39	6,714

当連結会計年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

	報告セグメント					合 計
	分譲住宅	住宅流通	土地有効活用	賃貸及び管理	注文住宅	
売上高						
外部顧客への売上高	30,024	25,423	12,951	10,674	520	79,594
セグメント利益	2,442	677	1,280	927	50	5,378

# Financial Statements

## 連結損益計算書

(単位:百万円 百万円未満切捨)

	前連結会計年度 自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日	当連結会計年度 自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
<b>3 売上高</b>	<b>86,363</b>	<b>79,594</b>
売上原価	71,154	65,761
販売費及び一般管理費	9,402	9,471
<b>3 営業利益</b>	<b>5,806</b>	<b>4,361</b>
営業外収益	290	383
営業外費用	436	423
<b>3 経常利益</b>	<b>5,660</b>	<b>4,322</b>
特別利益	0	—
特別損失	195	37
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>5,464</b>	<b>4,284</b>
法人税、住民税及び事業税	2,292	1,536
法人税等調整額	△ 90	△ 8
<b>3 当期純利益</b>	<b>3,261</b>	<b>2,756</b>

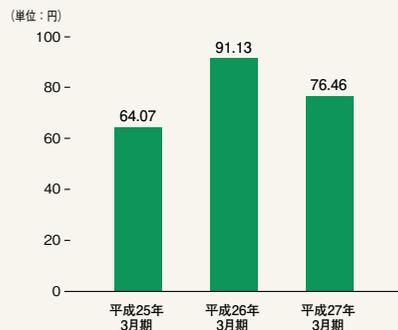
## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円 百万円未満切捨)

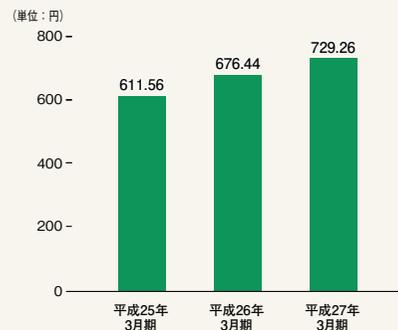
	前連結会計年度 自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日	当連結会計年度 自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
<b>4 営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 3,453</b>	<b>△ 4,107</b>
<b>5 投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 1,501</b>	<b>△ 2,056</b>
<b>6 財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>4,224</b>	<b>4,976</b>
現金及び現金同等物の増減額	△ 730	△ 1,187
現金及び現金同等物の期首残高	10,532	9,802
現金及び現金同等物の期末残高	9,802	8,614

## 連結経営指標等

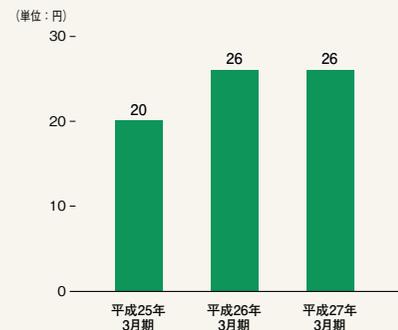
1株当たり当期純利益



1株当たり純資産



1株当たり配当額



### Point 4

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

良質でかつ大型の戸建住宅用地の積極的な仕入れを行ったことによるたな卸不動産の増加や、過去最高益を反映した前連結会計年度に係る法人税等の納付などにより、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなりました。

### Point 5

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

中古住宅アセット事業に係る土地・建物の取得や本社設備等への投資により、投資活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなりました。

### Point 6

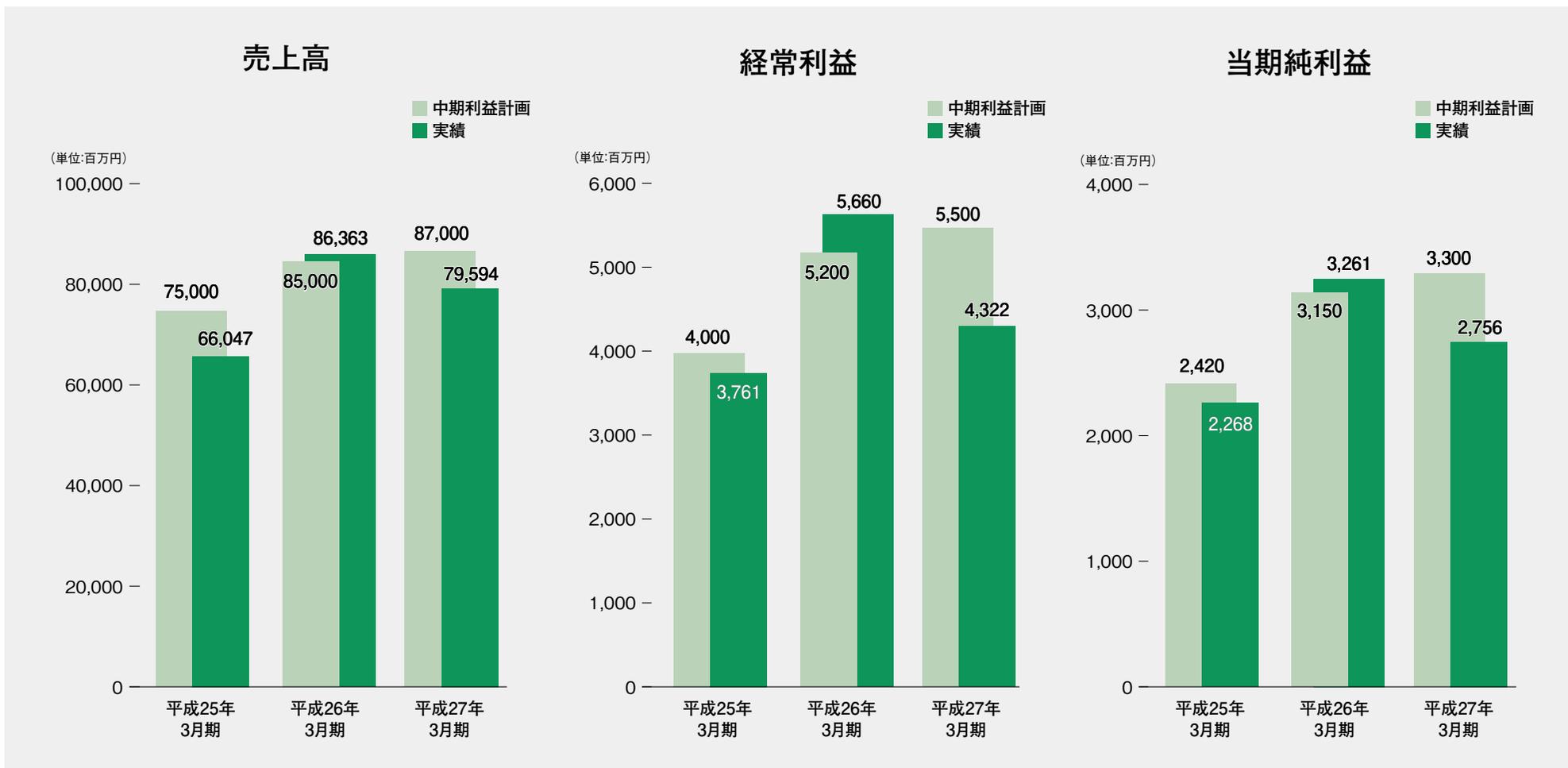
#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

社債の償還に伴う支出や、配当金支払いにより資金が減少したものの、たな卸不動産の仕入れのために金融機関より資金調達を行い長期借入金が増加したことで、財務活動によるキャッシュ・フローがプラスとなりました。

監査法人：有限責任監査法人トーマツ

# 中期利益計画の実績レビュー

平成25年3月期～平成27年3月期の中期利益計画と実績との比較



平成25年3月期から平成27年3月期までの中期利益計画の最終年度であった当期は、売上高87,000百万円、経常利益5,500百万円、当期純利益3,300百万円を目標としておりましたが、消費税増税前の駆け込み需要の反動による戸建住宅需要の低迷や建築資材・工事労務費の高騰による新規分譲マンションの供給抑制により、平成27年3月期の売上高・利益とも未達となりました。

# 新・中期利益計画について (平成27年4月30日公表)

## 平成28年3月期～平成31年3月期の中期利益計画の策定

中期利益計画の最終年度平成31年3月期の業績は、連結売上高102,000百万円、連結経常利益6,000百万円、当期純利益3,900百万円を目標といたします。

(単位：百万円)

	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期
連結売上高	88,000	95,000	96,000	102,000
連結経常利益	4,600	5,100	5,200	6,000
当期純利益	3,000	3,300	3,400	3,900
ROE	10%以上			

### 平成28年3月期 分譲戸建の供給拡大と一棟売賃貸アパートの引渡し大幅増加

消費税増税の影響が一巡したことにより、自由設計住宅の供給戸数が拡大する計画としています。また、平成27年3月期における富裕層向けの一棟売賃貸アパートの好調な受注（受注100棟）を受け、土地有効活用事業の売上高が大きく増加します。また、富裕層向けの一棟売賃貸アパート及び分譲マンションの取扱戸数が増加し、賃貸及び管理事業の売上高が増加します。

### 平成29年3月期 消費税の再引き上げによる駆け込み需要

良質でかつ大型の分譲住宅用地の販売及び引渡しが平成28年3月期に本格化し、消費税再増税による駆け込み需要が後押しします。また、中古住宅においては神戸方面・大阪北摂方面へのエリア拡大を図り、販売戸数の増加を計画します。賃貸及び管理事業は、富裕層向けの一棟売賃貸アパートの引渡しによるサブリースの戸数が引き続き増加します。

### 平成30年3月期 分譲マンション事業再開 バランス経営による安定化

分譲住宅事業において、分譲戸建住宅は大阪府下、阪神間の大型プロジェクトの引渡し時期を迎えます。また供給を抑制していた分譲マンションはJR和歌山駅前の一等地で再開します。賃貸及び管理事業は、富裕層向けの一棟売賃貸アパートの引渡しを反映して、着実に売上高・利益が伸長します。

### 平成31年3月期 売上高102,000百万円を目標

平成30年3月期に再開した一等地の分譲マンションの引渡しを開始され、中古住宅においても兵庫県及び奈良県など営業エリアの広域化が定着することから、ともに売上高が増加します。また、賃貸及び管理事業は中古住宅アセット事業の収益物件の拡大や富裕層向けの一棟売賃貸アパートの引渡しによる管理物件・サブリース物件の取扱戸数が増加するため、売上高が増加します。

# 社内紹介リレー

フジ住宅では「お客様に幸せになっていただくこと」を事業の目的とし、全社一丸となって取り組んでいます。当社の役職員がどのような気持ちで、どのような業務を行っているかをシリーズでご紹介します。第3回は分譲住宅事業部大阪支社営業部です。

用地仕入

造成

営業

設計

ローン

建築

アフターサービス

**分譲住宅事業部**では自由設計の新築一戸建住宅と新築分譲マンションの販売を行ない、お客様のマイホーム探しのお手伝いをさせていただいております。当社の事業目的である「幸せはこぶ住まいづくり」をモットーに、お客様にフジ住宅の家に住んでいただき、幸せになっていただくために、どのような思いで営業活動を行っているかを具体的な流れに沿ってご紹介させていただきます。

お客様がはじめて販売中の分譲地に来られる時は、緊張されていたり、時には過去に家探しをした際に強引に勧められたりといった経験から警戒心を持たれている方が少なくありません。当社ではそういったお客様にも安心してゆったりと見学していただけるような販売センター作りと営業接客に特長



があります。今すぐ住宅購入を考えていない方や他社の住宅との比較のためご来場されたお客様であってもご縁のあった全てのお客様に「フジ住宅の家を見に来てよかった」と思っただけのような接客を心がけております。そのために重要なことはお客様の

お話にしっかりと耳を傾け、住宅に対してどのような希望を持っておられるのかをお客様の立場になって真剣に考え、目の前のお客様を自分の大切な親、兄弟、親戚だと思って接するようにしております。

また、スマイルプレゼンター（SP）、顧客満足プレゼンター（CSP）という女性スタッフを現地に配置し、慣れない地域に引っ越して来られたお客様が周辺環境に早く慣れることができるように周辺地域のお店や病院・教育施設などの紹介、またお隣・ご近所と早く良好なコミュニティを築くことができるようにお手伝いをしています。

SP、CSPのスタッフは、現地を見学に来られた初期段階からお客様と接しており、女性ならではの細やかな心遣いでコミュニケーションを図り、お客様が参加できるイベントの開催やお子様の遊び相手になるなど、本当に良い信頼



<SPブログでの周辺情報紹介>

関係を築いております。そのため、お客様と一緒に野球観戦に行かせていただいたり、ご家族での食事会にご招待いただいたり、お客様からも家族の様に接していただくことも多いです。

さらに当社では、営業マンや住宅ローン担当者ほか全ての協力会社社員がお客様からの感謝やお褒めの言葉をいただいた際にはブラボーカードを、逆に不満やお叱りの言葉を頂戴した際にはイエローカードを発行し、担当者の励みや反省につなげるという取り組みを実践しております。この取り組みが奏功し、昨年は全体のカード発行数のうちブラボーカードの比率が97.3%までになりました。この結果に満足することなく顧客満足日本一を目指して益々取り組んでいきたいと考えております。



<契約者様・入居者様とのイベント>

最後に営業部における人事評価をご紹介します。営業の評価といえばたくさんのお受注をいただければ評価が上がるのが一般的ですが、当社では経営理念の実践度合いが評価の半分を占める人事考課になっています。したがっていくら営業成績が良くてもお客様に良い会社、良い営業マンにめぐり逢えたと喜んでいただければ低い評価に



<お客様に親んでもらいやすい販売センター作り>

なります。当社の営業部員は受注いただくことだけを一番に考えるのではなく、自分の親兄弟・親戚に接するようにお客様の気持ちに沿った行動をとることができると自負しております。

お陰様でこのようなさまざまな取り組みを通じてお客様からのご紹介の輪がどんどん広がっております。本当に嬉しい出来事として、当社の分譲地にお住まいのお客様がご夫婦揃って当社の求人採用面接にご応募いただくようなエピソードもございました。

営業では「一人でも多くのお客様に幸せになっていただく」を信条に日々お客様とお会いさせていただいております。これからも「幸せの輪」が益々広がっていくように顧客満足度日本一を目指していきたいと思っております。

(リレー紹介文担当者：分譲住宅事業部 大阪支社営業部 名嘉山 良)

## 社員に浸透している健康意識の高さ

社会医療法人 寿楽会 m・oクリニック

所長

吉田 豊

フジ住宅の産業医をしております、m・oクリニック所長の吉田と申します。産業医とは従業員皆様の健康管理など専門的な立場から助言・指導する医師であります。

産業医の立場から、定期健康診断や特定保健指導などでフジ住宅の従業員皆様の健康サポートや指導をさせていただくのですが、一般的な会社と比べて、フジ住宅は非常に手厚い健康診断メニューを実施されていると思います。

フジ住宅の場合、腫瘍マーカー検査や乳房超音波検査、ピロリ菌検査など、他にも多くの法定外の追加項目があり、それら全てを会社負担で行われています。

例えばピロリ菌検査は、胃潰瘍、十二指腸潰瘍の原因菌で胃ガンの発症に大きく関与するとも言われるピロリ菌に感染しているかどうかを調べますが、フジ住宅では、このピロリ菌検査がパート社員を含む全従業員の方が受診するメニューで、この検査に引っかかった方についても、再検査を会社の費用負担で受けられます。また除菌することで発症リスクを抑えられることから、従業員に対して、創業者の今井会長自らの発信でピロリ菌の陽性反応がでたら除菌するという周知回覧をされていると聞いています。企業姿勢の素晴らしさを感じます。

さらに、本来法定で健康診断実施を義務付けられている従業員の対象は健康保険加入者のみですが、フジ住宅の場合、健康保健未加入の短時間勤務者のパートの方も健康診断を受診させ、その費用もフジ住宅の企業負担としています。その理由をお伺いしましたところ、創業者の今井会長が、生命にかかわる事なので、是非受診されておられない一部のパートの方にも受診させてあげて下さいとの強い思いがあり、実施に至っているとのこと。従業員のことをそこまで考えている企業トップの話の聞き、だからここまで従業員に手厚い対応をされるのだなと感じた次第です。

こういった企業姿勢、環境だからこそ従業員の方も健康への意識が高いように思います。

一例ですが、健康診断において、メタボリック症候群を早期に見つけ、生活習慣病を予防する、特定健康診査があります。この検査で、基準値を超えた方を対象に特定保健指導を行っていますが、他の企業に比べ、フジ住宅の従業員の方は前向きに取り組む方が多く、健康意識の高さを感じます。

企業トップが従業員のことを強く想い、その思いが従業員に浸透している会社だからこそ感じます。

今後とも産業医として末永くお付き合いをさせていただきたく、お願い申し上げます。





# 株主優待制度開始について

このたび、多くの株主の皆様よりご要望・ご提案いただいております株主優待制度を平成27年3月期より開始いたしました。

なお、株主優待制度の導入に伴い、従来実施しておりました、すだち・玉ねぎ等の株主アンケートプレゼントは終了させていただきます。

## 株主優待制度の概要

- 対象となる株主様  
毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された1,000株以上保有の株主様を対象とします。
- 株主優待の内容  
次のとおり、保有株式数に応じ、優待品を贈呈いたします。

保有株式	優待の内容
1,000株以上 5,000株未満	JCBギフトカード3,000円相当
5,000株以上10,000株未満	JCBギフトカード4,000円相当
10,000株以上	JCBギフトカード5,000円相当

- 贈呈の時期  
定時株主総会終了後の6月下旬の発送となります。

# ホームページをリニューアルしました

トップページ・IRページ・CSRページがより見やすく、便利になりました。また内容の拡充により、当社に対する理解が深まるコンテンツの強化を実施いたしました。合わせてスマートフォンサイトもリニューアルいたしました。是非一度ご覧ください。

トップページ



IRトップページ



スマートフォンサイト



こちらから最新のIR情報をご確認ください。

<http://www.fuji-jutaku.co.jp/>

フジ住宅

検索

公式Facebookをはじめました!



# 株式の状況 (平成27年3月31日現在)

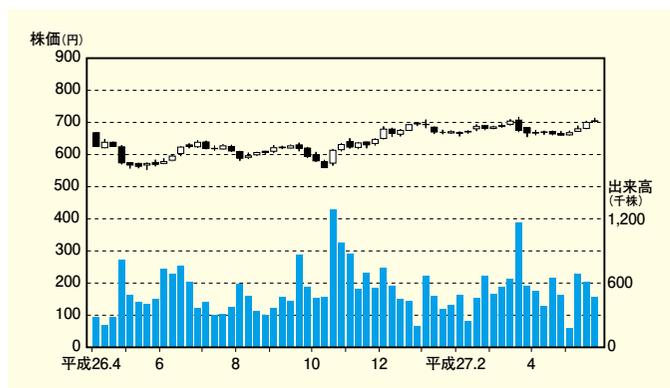
- 発行可能株式総数 105,000,000株
- 発行済株式の総数 36,849,912株  
(内、自己株式749,728株)
- 株主数 11,293名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社今井光郎	3,422千株	9.48%
一般社団法人今井光郎幼児教育会	2,680千株	7.42%
一般社団法人今井光郎文化道徳歴史教育研究会	2,561千株	7.09%
フジ住宅取引先持株会	1,978千株	5.48%
今井光郎	1,072千株	2.97%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託紀陽銀行口)	1,012千株	2.80%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,002千株	2.78%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	917千株	2.54%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託・株式会社池田泉州銀行口)	681千株	1.89%
フジ住宅従業員持株会	629千株	1.74%
株式会社紀陽銀行	585千株	1.62%
合計	16,541千株	45.82%

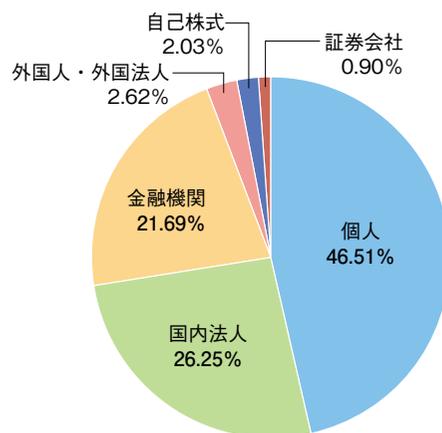
(注) 上記のほか、自己株式749千株があります。

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

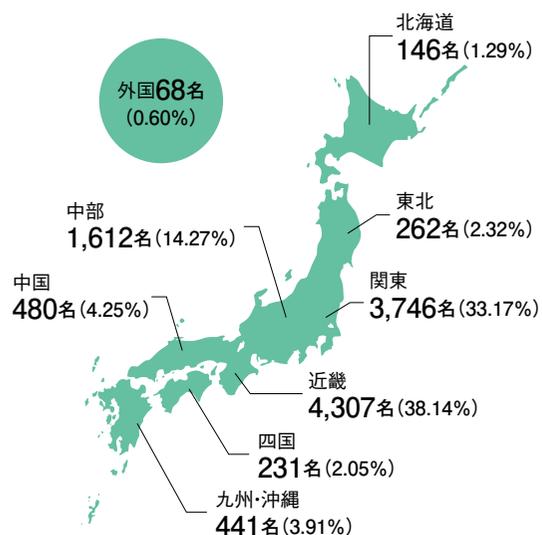
## ● 株価チャート (平成26年4月～平成27年5月)



## ● 所有者別株式分布状況



## ● 地域別株主分布状況



# 会社概要 (平成27年3月31日現在)

社名 フジ住宅株式会社  
 英文商号 FUJI CORPORATION LIMITED  
 設立 昭和49年4月19日  
 代表者 宮脇宣綱  
 資本金 48億7,206万円  
 従業員数 1,070名 (パート社員を含む) (連結)  
 事業内容 分譲住宅事業  
 住宅流通事業  
 土地有効活用事業  
 賃貸及び管理事業  
 注文住宅事業

関連会社 フジ・アメニティサービス株式会社  
 主要取引銀行 三井住友銀行、池田泉州銀行、紀陽銀行  
 りそな銀行、近畿大阪銀行、関西アーバン銀行  
 三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行  
 三井住友信託銀行、みなど銀行、京都銀行

## 役員 (平成27年6月26日時点)

代表取締役会長 今井光郎  
 人財開発室担当  
 代表取締役社長 宮脇宣綱  
 専務取締役 山田光次郎  
 事業企画本部長・大阪支社支社長  
 常務取締役 松山陽一  
 土地有効活用事業部長  
 取締役 石本賢一  
 経営企画部長・財務部長・IR室長  
 社外取締役 岩井伸太郎  
 執行役員 白樫浩之  
 分譲住宅事業部営業部長  
 常勤監査役 冠野雅之  
 社外監査役 高谷晋介  
 社外監査役 原戸稲男

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	電子公告による < <a href="http://www.fuji-jutaku.co.jp/koukoku/top.html">http://www.fuji-jutaku.co.jp/koukoku/top.html</a> >
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 [平日 9:00~17:00]
(インターネット) ホームページURL	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>

### 【株式に関する住所変更等のお届け及びご照会先について】

証券会社に口座をお持ちの株主様 ⇒ 株主様の口座のある証券会社

証券会社に口座をお持ちでない株主様  
(特別口座の株主様\*) ⇒ 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(上記電話照会先)

\*株券電子化(平成21年1月5日実施)前に証券保管振替機構(ほふり)をご利用されておらず、その後も証券会社に口座をお持ちでない株主様の株式は、当社が三井住友信託銀行株式会社に開設した特別口座で管理されています。



FUJI CORPORATION LIMITED

フジ住宅株式会社

〒596-8588 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号  
Tel.072-437-9010 Fax.072-437-9828

# IRメール配信 サービスのお知らせ (登録無料)

当社では、株主、投資家の皆様を対象にしたIR情報メール配信サービスを行っています。最新の開示情報やホームページの更新などのIR情報を、ご登録いただいたメールアドレスにお知らせしていますので、是非ともご登録いただきますようお願い申し上げます。

### 【メール配信サービス 登録方法】

当社ホームページ (<http://www.fuji-jutaku.co.jp/>)  
よりご登録いただけます。



ここで必要事項を入力の上ご登録ください。当社から最新情報を配信いたします。



クリック

